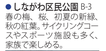

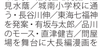

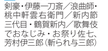

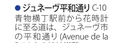

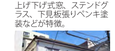

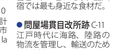

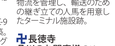

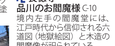

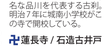

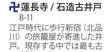

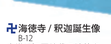

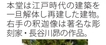

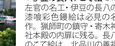

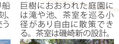

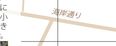

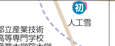

# 公式 東海道品川宿まち歩きマップ

# 名所ポイント

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
A
B
C
D
東海道
東海道品川宿入口
北品川駅
新馬場駅
青物横丁駅
鮫洲駅
立会川駅
大森海岸駅
品川駅
天王洲アイル
品川シーサイド駅
目黒川
勝島運河
しながわ区民公園
しながわ水族館
しながわ花海道
浜川橋（なみだ橋）
立会川
鈴ヶ森刑場跡
磐井神社 大森海岸駅より第一京浜沿いに横浜方面へ200m右手
日本ペイント明治記念館
しながわ・ジュネーヴ友好の花時計
八潮高校
屋形舟・釣舟の舟だまり
船着場
新浜川公園
アイルしながわ 東品川二丁目桟橋
問屋場（ゲストハウス品川宿）
品川茶屋（品川寺）
街道 BOOK&COFFEE

● 名所ポイント　🌲 街道松　🌸 桜　卍 寺　⛩ 神社　♨ 銭湯　🏫 学校　▨ 旧目黒川の川筋
まちの歴史の看板　初 発祥の地　🚻 トイレ　〒 郵便局　⊗ 警察・交番　東海七福神　🌳 立派な樹木

**街道松**
品川宿では、東海道の各宿の街道松をつなぐ事業を進めています。
これまで、浜松宿　三島宿　土山宿　藤沢宿　保土ヶ谷宿　枚方宿　御油宿　亀山宿
関宿　坂下宿　袋井宿　神奈川宿から寄贈をいただいています（複数本のケースも）。
これからも街道松をつなぎ、東海道57次の宿場町との交流を深めていきます。

**!? と思った時には、お立ち寄りを**
まちを歩いていて不思議に思ったり、ちょっと困ったことがあったら、お気軽にお立ち寄りください。
品川宿交流館（本宿お休み処）　南品川櫻河岸まちなか観光案内所（通称：旧交番）　問屋場（ゲストハウス品川宿）
街道 BOOK&COFFEE　街道文庫　品川茶屋（品川寺）

**● 浜川橋（なみだ橋）** B-4
江戸の刑場のひとつ鈴ヶ森へ引かれて行く罪人と家族らが涙ながらに別れた橋。歌舞伎にも登場する。

**● 浜川砲台** B-4
幕末に外国船の来航に備え土佐藩が築造した砲台場の一つ。坂本龍馬もその警固に着いたとされる。

**● しながわ区民公園** B-3
春の梅、桜、初夏の新緑、秋の紅葉。サイクリングコースやスポーツ施設も多く、家族で楽しめる。

**● 鈴ヶ森刑場跡** A-2
小塚原に並ぶ江戸の仕置き場。八百屋お七が火あぶりの刑となった礎石も残っている。明治4年廃止。

**● しながわ水族館** B-1
お楽しみはイルカやアシカ、アザラシのショー、そして水中トンネル。海の生物に触れる展示も人気。

**大井にゆかりの人々**
泊船寺で句会・松尾芭蕉／饅頭の祖・林浄因／句碑を残す・雪中庵蓼太／浜川砲台を警固・坂本龍馬／幕末の四賢侯・山内豊信／ビール醸造の父・古賀一平／鈴ケ森で処刑・丸橋忠弥、平井権八、天一坊、八百屋お七／大井を描いた画家・竹内重雄

**● 仙台坂遺跡** B-8
発掘調査では、伊達家の家紋入りの瓦や江戸時代の陶磁器、味噌工場の遺構などが出土している。

**● 山内豊信（容堂）の墓** B-7
土佐藩主・山内豊信は、幕政にも関与した幕末の四賢侯の一人。酒と大井の地を愛し、ここに眠る。

**● 鮫洲八幡神社** B-7
御林猟師町の鎮守。8月の例大祭では、神輿の宮出しが午前3時の暗闇の中で執り行われる。

**● 坂** B-6
東海道から西の大井町への道は全て上り坂。木の芽坂、へびだんだん、暗闇坂、ヘルマン坂などなど。

**● 勝島運河 / 船だまり** C-6
桜並木の遊歩道に花海道、運河にはボラや様々な水鳥、屋形船や釣り船。ここはみんなの憩いの場だ。

**卍 来福寺** B-6
990年創建の品川でも最も古い寺のひとつ。饅頭の祖・林浄因の碑や、俳人・雪中庵蓼太の句碑が。

**卍 嶺雲寺** B-5
江戸時代初期、延宝八（1680）年の銘が刻まれた、高さ93cmもある石造の閻魔坐像が祀られている。

**● しながわ花海道** B-5
勝島運河の岸辺に沿って四季折々の花を咲かせる活動が、地元の人たちの手によって進められている。

**● ビール発祥の地** B-5
初代品川県知事の古賀一平が、維新の動乱で困窮する市民の救済策に初のビールを製造し販売した。

**● 坂本龍馬像** B-4
龍馬は二十歳で浜川砲台の警固のために土佐藩の下屋敷に赴任。浜川は若き龍馬の覚醒の地とされる。

**卍 清光院 / 奥平家墓域** B-11
都内でも稀な規模を持つ大名様式の墓域。高さ3m余の石造五輪塔が88基も並ぶ様は、まさに壮観。

**● 日本ペイント明治記念館 / 道標** A-11
明治42（1909）年建設のレンガ造り工場を資料館として公開。建物前の通りが碑文谷道。道標も必見。

**● 高村智恵子記念碑** B-9
高村光太郎の詩「レモン哀歌」が刻まれている。妻の智恵子が療養した病院跡地に地元の有志が建立。

### 鮫洲・立会川・鈴ヶ森

**卍 海晏寺 / 岩倉具視墓** B-8
岩倉具視の墓所があり、江戸時代には紅葉の名所として知られた名刹だが、現在は一般の参拝は禁止。

**卍 泊船寺・松尾芭蕉句碑** B-8
松尾芭蕉にゆかりの深い寺で、芭蕉の座像や「旅人と我名呼れんはつ時雨」の句碑などが残っている。

**● 仙台藩下屋敷跡** B-7
江戸時代に仙台藩伊達家の下屋敷があった場所。敷地内では当時から仙台味噌が製造されていた。

**南品川にゆかりの人々**
天妙国寺に七堂伽藍を寄進・鈴木道胤／城南小学校名を揮毫・山岡鉄舟／盲目の国政政治家・高木正年／釜屋に投宿・土方歳三、新撰組／日本に航海術を伝授・J.M ゼームス／詩人・高村光太郎、美術家・高村千恵子／権現台を発掘・江見水蔭／城南小学校に通う・長谷川伸／東海七福神を発案・有坂与太郎／品川のモース・直津健吉／問屋場を舞台に大長編漫画を描いたジョージ・秋山

**天妙国寺に眠る人々**
剣豪・伊藤一刀斎／浪曲師・桃中軒雲右衛門／新内節三代目・鶴賀新内／歌舞伎でおなじみ・お祭り佐七、芳村伊三郎（斬られ与三郎）

### ゼームス坂・仙台坂

**● 本光寺 / 三重塔** B-11
沢庵和尚が立会いをした「品川問答」で知られる寺。品川宿内で三重の塔があるのは当寺のみ。

**卍 海蔵寺 / 首塚** B-11
古くから身寄りのない亡骸を供養する慈悲深い寺として知られる。境内の首塚に参れば頭痛が去るとも。

**● ゼームス坂** B-8
日本に航海術を伝えた英国人 J.M ゼームスが居住し、地域へ貢献したことから坂にその名が残った。

**● 馬頭観音** B-11
南馬場を起点とする碑文谷道と池上道（ゼームス坂）が、西と南に分かれる交差点に祀られている。

**卍 天龍寺 / 碑文谷地蔵** B-11
道路と鉄道が平面交差の頃に起きた碑文谷踏切事故の犠牲者を悼み、地蔵を祀る。レンガ塀も美しい。

**● しながわ・ジュネーヴ友好の花時計** D-10
品川寺の洋行帰りの鐘が縁で結ばれた品川区とジュネーヴ市。その友好の証に同市から寄贈された。

**● ジュネーヴ平和通り** C-10
青物横丁駅前から花時計に至る道は、ジュネーヴ市の平和通り（Avenue de la Paix）との姉妹道路。

**● 竹内医院 / 明治40年** C-9
区内で最も古い洋風建築。上げ下げ式窓、ステンドグラス、下見板張りペンキ塗装などが特徴。

**卍 品川寺 / 洋行帰りの鐘** C-9
ジュネーヴ市と品川宿、さらに同市と品川区との友好都市提携へと発展するもとになった梵鐘。そのご縁は幕末までさかのぼる。

**卍 品川寺 / 江戸六地蔵** C-9
江戸時代に街道の安全を願い各地に地蔵が造立された。その江戸六地蔵のうちの第一番目が品川寺。

**● 旅籠屋釜屋跡** C-9
江戸名所図会「品川駅」にも描かれた釜屋。新撰組の投宿記録もあり、地元の有志が碑を建立した。

**卍 海雲寺 / 千躰荒神** C-9
火伏せの神様、品川の荒神様として江戸の昔から信仰を集める。大祭は3月と11月の27・28日。

**● 鉄火巻き発祥の地** B-11
問屋場周辺の労働者が手軽に旨いものをと考えたのが鉄火巻き。ここ三岳あたりで始まったとされる。海苔とマグロといえば、品川宿では最も身近な食材だ。

**● 問屋場貫目改所跡** C-11
江戸時代に海路、陸路の物流を管理し、輸送のための継ぎ立ての人馬を用意したターミナル施設跡。

**卍 長徳寺 品川のお閻魔様** C-10
境内左手の閻魔堂には、江戸時代から信仰される六道図（地獄絵図）と木造の閻魔像が祀られている。

**卍 天妙国寺** C-10
秋のお会式では万灯が境内を埋めつくす。剣豪・伊藤一刀斎、浪曲師・桃中軒雲右衛門らが眠る。

**● 石畳** C-10
400年変わらぬ東海道の歴史性を生かし、歩道を石畳に、車道を土の色に近いアスファルトで整備。

**● 松岡畳店** C-10
東海道に面した店舗は大正時代の建築。運がよければ、土間で畳を作る職人の手仕事が見られる。

**卍 常行寺** C-11
広重のコレクションでも有名な品川を代表する古刹。明治7年に城南小学校がこの寺で開校している。

**卍 蓮長寺 / 石造古井戸** B-11
江戸時代に歩行新宿（北品川）の旅籠屋が寄進した井戸。現存する中では最も古い井戸のひとつ。

**卍 妙蓮寺 / 高木正年墓** B-11
本堂は江戸中期の造営、これをコンクリートで覆っている。品川が誇る政治家・高木正年の墓がある。

**卍 願行寺 / しばり地蔵** B-11
地蔵を縄でしばると苦しみの身代わりになってくれると伝えられる。地蔵は今も麻縄で巻かれている。

**● 高村看板ミュージアム** C-11
江戸時代以来の貴重な看板、総数400点余の中から180点を厳選し展示。昭和ネオン2階。入場無料。

**卍 海徳寺 / 釈迦誕生像** B-12
本堂は江戸時代の建築を一旦解体し再建した建物。右手の釈迦像は著名な彫刻家・長谷川昴の作品。

**● 街道松の広場** C-11
東海道の道筋に各宿の松を植える活動が進行中。この広場に植樹されているのは第一号の浜松宿の松。

**● 東品川海上公園** D-12
目黒川の河口に桜で整備された公園。桟橋も設置され、春と秋の「しながわ運河祭り」で賑わう。

**● 旧海岸線の石垣** C-11
東海道の東側がすぐ海だった昭和初期までの海岸線の石垣が、この通りにはまだ何カ所か残っている。

**● 和・洋の多様な船遊び**
品川浦と天王洲の周辺では、伝統的な釣り船、屋形船からクルーズ船、カヌー、貸切り水上タクシーなどまで、楽しめる。

**● 野外アート展示** D-13
天王洲エリアは野外のアート巡りがおすすめ。水辺のボードウオークや多彩なショップ、レストランも魅力。

### 南品川宿

**● 六行会** B-12
南品川の有志が幕末に設立し、今日まで教育助成と文化事業を柱に活動。品川図書館の礎を築いた。

**⛩ 荏原神社** C-12
南品川と東品川の鎮守。創建は和銅2（709）年と伝えられる。現在の社殿は江戸時代末の建築。

**● 南品川櫻河岸まちなか観光案内所(旧交番)** C-12
昭和4年頃に建てられた交番の建物を完全修復し、「南品川櫻河岸まちなか観光案内所」として活用。

**● 伊豆の長八 / こて絵** C-13
左官の名工・伊豆の長八の漆喰彩色鏝絵は必見の名作。猟師町の鎮守・寄木神社本殿の内扉に残る。長八のこて絵は、北品川の善福寺にも現存する。。

**● 江戸漁業根源之碑** C-13
寄木神社の境内に建つ石碑には、品川の漁師こそが江戸の漁業の総元締めである、との誇り高い文(選文:本山萩舟) が刻まれている。

**猟師町にゆかりの人々**
台場築造を指揮・江川太郎左衛門／台場の大親分・大場久八／鏝絵の名工・伊豆長八／漁民のために闘う・高木正年／食のジャーナリストの元祖・本山萩舟

**● 第四台場石垣** D-15
アイルの基礎は幕末の海上防備で築いた第四台場。ボードウオークの下には当時の石垣が残っていて、美しい石組みが見られる。

**● 品川浦船だまり** B-14
たくさんの屋形船、釣り船が係留する水辺。特に夕刻、灯をともした船が行き交う水景はおすすめ。

**● 御殿山下砲台跡** C-14
ペリー来航に備えて築かれた台場のひとつ。陸続きの築造で陸台場とも呼ばれた。現・台場小学校。校門の右手には日本で3番目に古い品川灯台のレプリカが。実物は明治村に移築、保存されている。

**● 冽崎猟師町** C-13
江戸前の魚介類と海苔で漁業権を放棄する昭和37年まで盛業。江戸時代以来の「猟」の字を用い、品川漁師の誇りを今に伝える。

**⛩ 鯨塚 / 利田神社** B-14
品川の猟師が迷い込んだ鯨を捉え、将軍家斉もご上覧になる大騒動に。そのとき捉えた鯨の供養塚。

**● 御殿山ガーデン** A-13
巨樹におおわれた庭園には滝や池、茶室を巡る小径があり自由に散策できる。茶室は磯崎新の設計。

**● 翡翠原石館** A-13
翡翠の巨大な原石や珍しい勾玉、翡翠造りの露天風呂などを展示。装飾品のショップもある。

**御殿山にゆかりの人々**
最初に館を建てた・太田道灌／鷹狩りの館を建てた・徳川家康／桜を植えた・徳川家光／数寄者・益田孝／銀行の父・原六郎／作家・吉川英治／教育者・津田梅子

### 猟師町・天王洲

**● 北品川橋** B-14
橋の上に立てば、21世紀の超高層ビル、大正時代の石垣、太古以来の品川浦の水面まで一望できる。

**● 子供の森公園** A-12
木立の中に恐竜が立ち並び迫力満点。子供たちに大人気。元の荏原郷役所跡、東海小学校跡でもある。

**東海寺にゆかりの人々**
沢庵を招き開山・徳川家光／梵鐘を寄進・桂昌院／憲政の神様・尾崎行雄

**大山墓地に眠る人々**
たくあんを考案・沢庵和尚／暦の父・渋川春海／儒学者・服部南郭／国学の父・賀茂真淵／近代工業の父・西村勝三／鉄道の父・井上勝／演歌の母・島倉千代子

**卍 東海寺** B-12
徳川家光が敬愛する沢庵和尚を開山に迎えて興した寺。境内には桂昌院が寄進した梵鐘も残る。

**● 品川硝子製造所跡** A-12
東海寺大山墓地への入り口に、この地に日本の近代工業が興った証として、一対の記念碑が建つ。

**● 板垣退助墓** B-12
品川神社の本殿裏にあり、傍らに有名な「板垣死すとも自由は死せず」の言葉を刻んだ碑が建つ。

**今もひきつぐ横丁の名前**
品川宿には今も古くからの横丁名が残っている。清水横丁、台場横丁、青物横丁などなど、その名前の由来をたどれば、品川宿の歴史が見えてくる。

**品川神社にゆかりの人々**
神社を創始・源頼朝／御神面と神輿を奉納・徳川家康／自由民権の父・板垣退助／扁額を奉納・勝海舟

**● 一粒万倍の泉** B-13
品川神社本殿から、右手の鳥居を通り抜けた阿那稲荷社にある銭洗いの泉。一粒が万倍になるとか。

**● 品川富士** B-12
富士山を信仰する品川丸嘉講の人々が、品川神社の境内に築いた富士塚。山開きは毎年7月1日。

**北品川宿にゆかりの人々**
井伊大老を討つ・水戸浪士／イギリス公使館を焼き討ち・高杉晋作、伊藤博文、井上馨、久坂玄瑞／鏝絵の名工・伊豆長八

**⛩ 品川神社** B-12
鎌倉時代初期に創建された北品川宿の鎮守。家康公寄進の御神面や神輿などが伝えられている。

品川神社宝物殿

**● 北浜こども冒険広場** C-12
こどもが主役で「自分の責任で自由に遊ぶプレイパーク」。子育て支援活動に取り組む NPO が運営。

**● 品川橋** C-12
北品川と南品川とを分ける橋。江戸時代の東海道では日本橋から4つ目の橋。橋の上の公園は珍しい。

**● 品川宿交流館 本宿お休み処** C-12
まちづくり活動の拠点。訪れる皆さんの休憩、交流の場（駄菓子屋を併設）、歴史・文化の展示コーナーも。

**卍 本照寺 / 寺子屋** B-12
近年、様々な人たちが活用できる空間の整備に力を入れ、地域に開かれた寺院の運営を進めている。

**⛩ 於春稲荷 / 小泉長屋** B-13
江戸時代中期に小泉金左衛門が長屋を建てて以後、小字名となり、現在も一帯は小泉長屋と呼ばれる。

**● 聖蹟公園** C-13
大名クラスの要人が宿泊した本陣の跡。明治天皇が東京行幸で止宿したことから聖蹟の名がつく。

**卍 養願寺** B-13
虚空蔵菩薩が本尊で、13歳の年にお参りをすると、福徳と知恵が授けられると信仰されている。

**卍 正徳寺 / レンガ塀** B-13
虚空蔵尊（養願寺）に通じるところから虚空蔵横丁と呼ばれる。品川宿らしい景観のひとつ。

**● 品川小発祥の碑** B-13
品川小学校は区内初の小学校として、明治7年に法禅寺で開校している。それを記念する碑。

**卍 一心寺** C-13
品川宿のお不動様として信仰を集める寺。頭の上に置く「ほうろく灸」などの体験も楽しめる。

**● 土蔵相模跡** B-14
水戸浪士の桜田門外の変、高杉晋作、伊藤博文らの英国公使館焼き討ちなどの舞台となった旅籠跡。

**卍 善福寺 / こて絵** B-13
幕末から明治にかけて活躍し、左官の名工として知られた伊豆の長八が残した、龍の漆喰鏝絵。

### 北品川宿•御殿山

**● ゴジラ初上陸** A-15
映画「ゴジラ」の第1作目（1954年）、太平洋上の水爆実験で被爆したゴジラが初上陸したのがここ八ッ山。

**● 問答河岸の碑** B-14
家光と沢庵が禅問答を交わしたことから付いた船着場の名前。実際には現在地よりもっと南であった。